

県民・事業者・行政が一体となって

# トライアングル

第 1 2 号

兵庫県フロン回収・処理推進協議会  
 広 報 紙  
 1997.10.15 発行  
 編集発行 推進協議会事務局

## 協議会ホームページ 運用開始！

去る平成9年6月24日に行われた通常総会において、今年度の事業計画が承認されたわけですが、事業計画の中に「ホームページの開設・運用」があったことをご存知でしょうか。

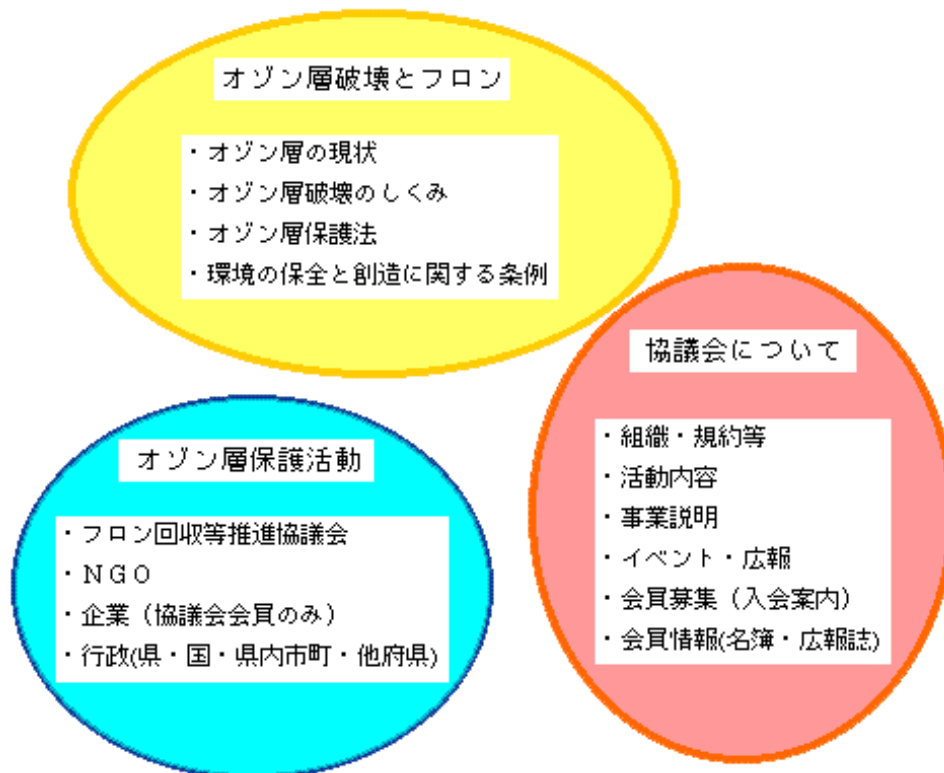
これは、環境事業団から平成9年度地球環境基金の助成を受けた事業の1つで、オゾン層保護に関する意識の普及啓発を目的に、秋から運用開始を目指して作業を進めて参りました。

そして、この度ホームページが開設され、10月より運用を開始しました。会員の皆様には、一度協議会ホームページにアクセスしていただき、ご意見・ご希望等がありましたら事務局まで、メール、電話、FAX等でご連絡ください。

なお、今後はホームページ内にも「トライアングル」を掲載していきますが、会員の皆様には従来どおりトライアングルを郵送させていただきます。

ホームページのアドレスは <http://www.bekkoame.or.jp/ro/fron> です。

### ホームページ構成図



## フロン回収装置 & ボンベ リース情報

フロン回収装置およびフロン回収用ボンベについては、10月1日現在、下記のものについてリースが可

能です。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

## 1. フロン回収装置

種類	対象フロン	台数	リース料金	特記事項
車載型(中島自動車電装)	フロン12専用	1台	21,200円/月	エンジン駆動のため電源不要
据置型(中島自動車電装)	フロン12、22、502	1台	3,700円/月	電気冷蔵庫又は家庭用エアコンからの回収に限ります。

リース料金には、修理、メンテナンス費用は含みません（使用者負担になります）。  
車載型のリース料金には、保険、税金、定期点検料を含みます。

## 2. フロン回収用ポンペ

### (1) リースできるポンペの種類

区分	容量	フロンの種類	備考
一般型ポンペ（サイフォン付き、2口ポンペ）	20kg	フロン502	約180本（即リース可能）
	20kg	フロン12 フロン22	リース依頼があった後、ガス名変更等の手続きを行いますので、リースまでに少し日数がかかります。
中島自動車電装（株）製回収装置の専用ポンペ	20kg	フロン12	19本（即リース可能）
	20kg	フロン22	14本（即リース可能）

### (2) リース料金について

	期間	20kgポンペ
ポンペ1本のリース料金	1年間	3,700円（消費税を含まない）
	月額（1年未満の場合）	350円（消費税を含まない）

リース料金にはリース先へ搬送する費用は含まれておりません。別途送料が必要です。  
消費税が別途必要です。

回収装置、ポンペともに、1年未満リース希望の場合は、通常6カ月以上となっています。  
しかし、今回に限り、リース開始日（各月1日）から平成10年3月末までとします。リースした回収装置やポンペは、ご希望の場合、来年度も継続してリースできます。

## オゾン層保護対策促進セミナー 開催！

トライアングル11号でお知らせしたとおり、去る9月5日に兵庫県民会館において、「オゾン層保護対策促進セミナー」が開催されました。

今年から「オゾン層保護対策促進月間」が9月となった（トライアングル11号参照）ことから、環境庁と兵庫県の主催で実施され、当協会は協賛として参加しました。

関係事業者（家電販売、冷凍空調、カーエアコン、廃棄物処理）、一般企業、県民、県内外の自治体等、様々な立場の方々に参加していただきました。

多数のご出席、誠にありがとうございました。

### 《概要》

1. 日時 平成9年9月5日（金）13:30～16:30

2. 場所 兵庫県民会館 9階ホール（神戸市中央区下山手通4-166-3）

3. 参加者数 203名

4. 内 容

(1) 講演「オゾン層破壊の現状と国内外の取組について」

講師：高崎経済大学地域政策学部 教授 石井 史

南極のオゾンホールは年々拡大している。また、最近では地球温暖化の影響を受けて成層圏の温度が低下してきたため、1、北極圏でも極成層圏雲が発生し、オゾンホールが発生するようになってきた。

イギリスではこの10年間に30%もオゾン層が減少した。また、日本でも札幌で10%オゾン層が減少し、紫外線の被害<sup>2</sup>が懸念される。

ひいては子供たちへの健康被害が心配。紫外線防止をしっかりとる必要がある。

フロンは同時に強力な温暖化物質でもある。

例えば、冷蔵庫1台分のフロン150gは、その冷蔵庫の4.1年分の二酸化炭素の排出量に相当する。仮に、全世界でストックされているフロンをすべて回収すると、全二酸化炭素排出量の3%を削減するのと同じ効果がある。

地球環境の破壊が起これば、それに対処する費用は莫大なものになる。それを思えば、今、予防のために費やす費用の方がはるかに安い。

日本のフロン対策は欧米に比べると、はるかに劣っている（1周遅れのランナー）。カーエアコンを例にとると、当初、75%は回収できると見込んでいたのが、実際は2.7%でしかなかった。脱フロン化ではなく、HFC路線でいくならば、回収を徹底するべきである。

公害の時代には、加害者が特定され、その加害者が費用を負担したが、現在の地球環境問題では加害者を特定できない。

しかし、少なくとも我々消費者にも責任がある。寺西先生が提言されている「応責負担の原則」を参考とし、フロン回収費用を製品価格に上乗せするのではなく、別途明確に請求すべきだ。

- 1 対流圏で温室効果ガスが増加すると、地表面で反射する赤外線が対流圏内で吸収されるため、対流圏では温度が上昇するが、逆に成層圏では温度が低下する。
- 2 植物プランクトン被害による漁獲量の激減、カエルのふ化障害による激減等。

(2) 講演「フロン回収技術について」

講師：株式会社トキメックパワーシステムズ 技術顧問 川瀬 正博

一般の人にはわかりにくいフロンの回収原理について、自作の図を用いてわかりやすく説明をいただきました。

(3) 事例発表「フロン回収の社会的定着のために」

コメンテーター：高崎経済大学地域政策学部 教授 石井 史

発表者：兵庫県生活文化部環境局大気課 課長補佐 矢内健太郎

生活協同組合コープこうべ 住居関連部課長 時尾 宏治

財団法人家電製品協会 近畿地区長 筒井 信博

株式会社神戸マツダモーターズ サービス営業推進部課長 松田祐喜三

環境カウンセラー（元兵庫県消費者団体連絡協議会事務局長） 長本 政子

全国的にもトップクラスの取組をされているコープこうべ、家電製品協会近畿地区、神戸マツダモーターズの方々に、取組事例を発表していただき、これまでのご苦勞を感じとることができました。

また、これら業界の方々の努力に対し、元兵庫県消費者団体連絡協議会事務局長の長本さんから、「我々消費者も環境問題に対し積極的に関与していかなければいけない。子供たちの環境教育も含めて、私たちの意識も変えていかなければいけない」とのご発言がありました。

5. 主 催 兵庫県、環境庁

6. 協 賛 兵庫県フロン回収・処理推進協議会

7. 後 援 兵庫県大気環境保全連絡協議会

このたび当協議会では、今回のセミナーに合わせて、「一般消費者の方々へ、費用の一部負担等のご協力を求める」リーフレットを作成し、配布しました。  
フロン回収の費用については、関係業界、事業所も一部負担をし、さらにコスト低減の努力を今後も継続することを条件に、消費者の方々にもご協力をお願いしたいと考えております。  
なお、本セミナーの資料、リーフレットは余部がありますので、ご希望の方は事務局まで。

## お 知 ら せ

### オゾン層保護・地球温暖化防止NGO国際フォーラム

平成9年12月、京都でCOP3（気候変動枠組み条約第3回締約国会合）が開催され、今後の地球環境問題解決のために、世界中の行政機関、有識者が参集します。

このCOP3に向け、関西の地球環境問題及びオゾン層保護のNGO（非政府組織）が中心となり、神戸市において国際フォーラムを開催し、「オゾン層保護」と「温暖化防止」を中心とした地球環境問題を、「神戸」から「京都」へ向けて盛り上げていくことを目的に、標記のフォーラムを開催することとなり、平成8年12月に、フォーラム実施のための実行委員会が設立されました。

実行委員会には当協議会もメンバーとして参加しています。

この国際フォーラムは、オゾン層破壊及び地球温暖化の原因物質である「フロン」について、その排出防止、有効な対策措置を考え、全世界へアピールしていくために、海外の先進的なNGO、有識者を招き、世界的視野でみたハイレベルな環境問題フォーラムを予定しています。

その内容がほぼ確定しましたので下記のとおりお知らせします。

当フォーラムに、皆様方のご支援、ご協力をお願いします。

入場無料（資料代1,000円必要！）

1. 開催日 1997年11月23日（日）～24日（月）

2. 場 所 西山記念会館（神戸市中央区脇浜3-4-16町） 最寄駅：阪神春日野道駅

3. 内 容

（第1日）

- 基調講演 アンダーセン博士（EPA：アメリカ環境保護局）
- ストップ・フロン国際NGO会議  
参加NGO：日本、インドネシア、フィリピン、台湾、イギリス、カナダ、スウェーデン

（第2日）

- 特別講演 ルーメン・ボジョコフ博士（WMO：世界気象機構）
- 紫外線予防ファッションショー
- シンポジウム 「ストップフロン戦略の構築に向けて」各国NGO
- ストップフロン戦略NGO神戸宣言の採択（COP3に向けて）

4. 参加予定者 内外のNGO・市民、国・自治体、大学・研究機関、関係企業

5. 後援予定

環境庁、兵庫県、大阪府、神戸市、COP3京都会議実行委員会、（財）ひょうご環境創造協会

## 《協賛、出展のご案内》

### 1. 協賛団体の募集

この取り組みにご賛同していただけるすべての団体  
協賛金 1口 50,000円(消費税込み)  
(協賛団体はプログラムに名称を掲載させていただきます。)

### 2. 出展の募集

会場ロビーにおいて、オゾン層保護、温暖化防止等に関する機器、技術、活動内容、書籍などの出展を募集します。  
1小間(間口1.8m×奥行き0.9m) 250,000円(消費税別)

協賛、出展についてのお問い合わせは

〒657 神戸市灘区山田町3-1-1 (財)神戸学生青年センター内  
オゾン層保護・地球温暖化防止国際フォーラム実行委員会 事務局  
(委員長 市橋 正光 神戸大学医学部教授)  
TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

## ひょうごエコ・フェスティバル'97

来る平成9年10月25日・26日に県立明石公園で開催される「ひょうごエコフェスティバル'97」に、当協議会は昨年、一昨年に引き続き出展します。

このイベントは、「第9回ひょうごのまつり - ふれあいの祭典」の環境イベント「さわやか環境まつり」と一体的に開催されるもので、当協議会は協賛もしております。

協議会の今年の出展内容は、毎年恒例の「廃棄冷蔵庫からフロン回収装置で回収作業を実演する」他、ご来場の方に回収作業を「体験」していただく予定です。また、今回のトライアングルでご紹介したホームページを、実際にご覧になることができます。

その他にも、会場ではご家族連れの方にも楽しんでいただけるような催しもいろいろ企画されておりますので、ぜひご来場ください。

入場無料

1. 日 時 1997年10月25日(土)～26日(日)

2. 場 所 県立明石西公園(明石市北王子町353)  
当日は明石公園から明石西公園まで無料シャトルバスを運行

3. 主 催 ひょうごエコフェスティバル'97実行委員会、(財)ひょうご環境創造協会、兵庫県

ひょうごエコフェスティバル'97についてのお問い合わせは

ひょうごエコフェスティバル'97実行委員会(兵庫県環境政策課内)  
TEL 078-341-7711(代表)

## 地球環境フェア in 神戸 '97

前述のNGO国際フォーラムに引き続き、来る平成9年11月27日～30日に神戸国際展示場で開催される「地球環境フェア in 神戸'97」にも、当協議会は出展を行います。

このイベントは、「美しい地球 - 子どもたちの未来のために - 」をテーマに、市民・団体・NGO・企業・行政がそれぞれ地球環境保全の取り組みを展示する、COP3の関連行事です。

当協議会のブースでは、フロン回収装置を展示し、回収装置のカタログを配布いたします。また、上記エコフェスティバルと同様に、ホームページの閲覧も行います。

その他にも、会場では100以上の団体が趣向を凝らした展示をしておりますので、一度足をお運びください。

入場無料

1. 日 時 1997年11月27日(木)～30日(日)

2. 場 所 神戸国際展示場(神戸市中央区港島中町6-11-1)  
最寄駅:ポートルライナー市民広場駅

3. 主催予定 環境庁、建設省、兵庫県、神戸市

4. その他 当日は協議会の入会受付も併せて実施しております。

また、当日配布希望の回収装置カタログがある会員の方は、協議会事務局までご連絡ください。

地球環境フェア in 神戸'97についてのお問い合わせは

地球環境フェア in 神戸'97運営事務局((株)コングレ内)  
TEL 06-311-3331

## トピックス

# モントリオール議定書第9回締約国会合

平成9年9月15日～17日の3日間に、カナダのモントリオールで、「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書第9回締約国会合」が開催されました。  
その概要は以下のとおりです。

### 1. 会合の概要

(1) 場所 カナダ・モントリオール

(2) 日程 1997年9月9日～9月12日 モントリオール議定書第16回作業部会  
9月15日～9月17日 モントリオール議定書第9回締約国会合  
9月16日 モントリオール議定書採択10周年記念行事

### 2. 主な合意事項

(1) 臭化メチルの削減計画の前倒し

先進国(非5条適用国)について	
1995年 100%以下(1991年比)	1999年 75%以下(1991年比)
2001年 75%以下	2001年 50%以下
2005年 50%以下	2003年 30%以下
2010年 全廃	2005年 全廃

開発途上国(5条適用国)について	
2002年 100%以下(1995～98年の平均比)	2005年 80%以下(1995～98年の平均比)
	2015年 全廃

(2) 臭化メチルの非締約国との貿易規制  
議定書の締約国と非締約国との規制物質の輸出入を禁止することが定められた。

(3) 臭化メチルの不可欠用途(クリティカルユース)関連  
臭化メチルの不可欠用途(クリティカルユース)の基準及び緊急時使用として20トン以下の臭化メチルの消費を認めることが定められた。

(4) オゾン層破壊物質の輸出入に係るライセンスシステム

締約国は、2000年1月1日までに、新品、使用済み、回収及び再生されたCFC、ハロン、四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン、HCFC、臭化メチルの輸出入に係るライセンスシステムを構築し、実施することが定められた。ただし、開発途上国においては、HCFCについては、2005年1月1日まで、臭化メチルについては、2002年1月1日までに構築し、実施することとされた。

### 3. 今後の開催予定

モントリオール議定書第10回締約国会合は、1998年11月にエジプトで開催される予定。

#### 事務局だより

冒頭に記載のとおり、当協議会のホームページ内に「トライアングル」を掲載します。この号はまだ載っていないと思いますが、できるだけ早く掲載し、古いバックナンバー（一昨年度以前のもの）は消去していく予定です。バックナンバー希望の方は事務局まで連絡を。また、レスポンスをよくするために、バックナンバーの画像データは消去します。

ホームページ内に「トライアングル」が掲載されても、会員の皆様には当分の間、ペーパーのトライアングルを送付します。

## 兵庫県フロン回収・処理推進協議会

〒650 神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県生活文化部環境局大気課内）

TEL (078) 362-3284 FAX (078) 362-3966